

り君の信仰するキリスト教の教えなのかもしれない。これからは、私もキリスト教を信仰して、君のようなやさしい愛にあふれた人生が送れたら、きつとすばらしいことだろう。」

こう言つて、夫の季昌が教会で洗礼をうけて、キリスト教徒となつたのです。リンのやさしい忍耐強い人がらが、夫の心を開かせたのです。

明治四十二年（一九〇九年）四月二十日、会津の幼児教育と女子教育の母といわれた海老名リンは、家族にみとられながら、静かに息をひきとりました。六十一歳でした。

残し行く母の思ひをおもひやりて

道はかどらぬ心地こそせめ

お葬式は、折から満開となつた桜ふぶきの中を、キリスト教式で行われました。